

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～38
世 界 史	40～53	地 理	54～63
数 学	64～69		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

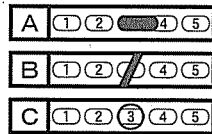
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(地 理)

〔I〕 つぎの文章は、面積世界第1位から第4位の島について述べたものである。下記の問いに答えよ。解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示にしたがって記せ。

面積世界第1位の 島は、 圏に位置し、 領である。人口は約6万人、面積の約80%は に覆われ、海岸の多くは になっている。

島の動植物には、サン＝テグジュペリ作の『星の王子様』に出てくる樹木 や、日本の童謡にも歌われているアイアイなどの固有種が多い。

系の多様な民族で構成され、現地語と旧宗主国の 語が公用語となっている。

島は、大陸の北方に位置し、東経141度を境に、東半分は 、西半分は に分かれている。島全体が に属しており、中央部の脊梁山脈は西岸海洋性気候となっている。

島の中央を が横断している。北は と 、南は に分かれている。大部分が に覆われた島であったが、森林が減少し、「森の人」とも呼ばれる などの野生動物が絶滅の危機に瀕している。

問1 文中の空欄 ～ それぞれに適する島名を答えよ。

問2 文中の空欄 ～ それぞれに適する国名を答えよ。ただし、同じ記号には同じ国名が入る。 と については順序を問わない。

問3 文中の空欄 ア ～ ケ それぞれに適する語句を次の a～r から選び、記号で答えよ。

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| a オランウータン | b ゲルマン | c 硬葉樹林 |
| d 古期造山帯 | e 新期造山帯 | f 赤道 |
| g タイガ | h チンパンジー | i 南極 |
| j 熱帯雨林 | k バオバブ | l フィヨルド |
| m 氷床 | n 北極 | o 本初子午線 |
| p マレー＝ポリネシア | q モミ | r リアス海岸 |

問4 文中の島B～Dについて、面積が大きい順に左から並べた組み合わせを次の①～⑥から選び、番号で答えよ。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① B — C — D | ② B — D — C |
| ③ C — B — D | ④ C — D — B |
| ⑤ D — B — C | ⑥ D — C — B |

地理

〔Ⅱ〕 開発に関するつぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示にしたがって記せ。

歴史的にみて、私たちが暮らす環境はさまざまな開発によって整えられてきた。科学技術の発達により、人が暮らすのに適さない場所でさえも、生活可能な空間へと開発され、居住可能地域である の範囲が広がられてきた。

ひとくちに開発といっても、いろいろな種類の開発がある。まず思いつくのが居住するための空間、すなわち住宅地区の開発である。都市の郊外にはニュータウン⁽¹⁾をはじめとする住宅地区が開発され、多くの住宅が供給されてきた。また、イギリス人ハワード(E. Howard)が提唱したことに端を発する 構想によっても、計画的に住宅地区が建設された。

先進国の都市の内部地域ではインナーシティ問題が顕在化し、さまざまな問題が発生する。それらの問題に対処するため、都市再開発が行われることもある。都市再開発が実施された地域ではさまざまな面で変化がもたらされることになる。⁽³⁾ また、都市の内部地域における諸機能を分散させる目的で、副都心や新都心が開発される場合もある。

道路や鉄道、橋などの交通施設や上下水道、電気、ガスなどの生活施設、電話やインターネットなどの情報通信施設といった の開発も人々が社会生活を送る上で必要不可欠である。そのような の開発には多額なコストを必要とし、そして高度な科学技術が求められることから、発展途上国では政府開発援助()⁽⁴⁾などによる先進国の支援を受けることが多い。

産業面での開発もある。農業においては農地の開発⁽⁵⁾が行われ、工業においては工業団地の開発が行われるなど、その地域の特性や目的に応じた開発がなされる。⁽⁶⁾ また、工場の海外移転など企業の海外進出に伴い、国内における産業の が生じた先進国においては、その結果として、工場跡地などの場所が別の用途および機能の施設や場所へと変貌を遂げる開発も散見される。

問1 文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を答えよ。
 なお、同一符号の空欄には同一の語句が入るものとし、 と にはカタカナ、 にはアルファベットが入る。

問2 下線部(1)について、イギリスのニュータウンは第二次世界大戦後にロンドンの過密状態を解決するために実施された大ロンドン計画の一環として建設されたものであり、諸外国の都市開発に影響を与えてきた。日本のニュータウンも影響を受けたものであるが、実態としてイギリスのニュータウンとは異なる点がみられる。その異なる点について答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

問3 下線部(2)について、以下の図1は2013(平成25)年時点における世界の主な都市(ソウル、東京、バンクーバー、香港、メキシコシティ、ロンドン)の戸建住宅地(各都市の都心から概ね1時間以内の良好な居住環境の地域)の価格(土地・建物の一体価格)と住宅床面積の関係について、東京の価格および住宅床面積をそれぞれ100とした指数で表している。図1中のA～Cに該当する都市を答えよ。

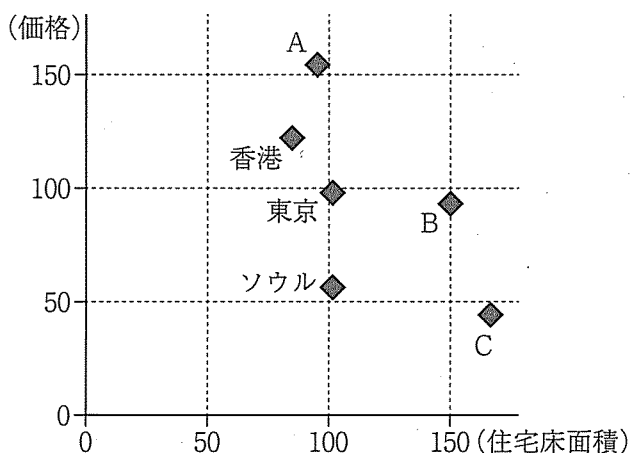


図1 主要都市における戸建住宅地の価格と床面積

資料：『平成25年世界地価等調査結果』(公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会)より作成

地理

問4 下線部(3)について、都市再開発に伴う地域の変化を、機能・用途、景観、地価の3つの面から答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

問5 下線部(4)について、以下の表1は2013年～2017年における主な国(アメリカ合衆国、イギリス、スウェーデン、ドイツ、日本、フランス)の政府開発援助の実績(支出純額ベース)と各国の国民総所得(GNI)に占める割合を示している。表中のD～Gに該当する国名を答えよ。

表1 主な国の政府開発援助の実績と国民総所得(GNI)に対する割合

年次	国名	D	ドイツ	E	F	フランス	G
2013	金額	32,583	12,469	16,078	10,713	9,640	4,682
	対GNI	0.18	0.38	0.70	0.22	0.41	1.01
2014	金額	33,881	14,272	16,180	9,442	8,983	5,184
	対GNI	0.19	0.42	0.70	0.20	0.37	1.09
2015	金額	31,381	18,124	16,715	10,263	9,046	7,095
	対GNI	0.17	0.52	0.70	0.20	0.37	1.40
2016	金額	34,412	24,736	18,053	10,417	9,622	4,894
	対GNI	0.19	0.70	0.70	0.20	0.38	0.94
2017	金額	34,638	23,844	18,425	11,864	11,057	5,380
	対GNI	0.18	0.66	0.70	0.23	0.43	1.01

単位：金額(百万ドル)，対GNI(%)

注：支出純額＝支出総額－回収額(被援助国から援助供与国への貸付の返済額)

資料：OECD資料より作成

問6 下線部(5)について、以下の写真1はアメリカ合衆国における、ある地域の開発された農地を表している。そのような農地景観が主として見られる地域を、下の図2中H～Kから選んで記号で答えよ。また、そのような農地開発の結果としてどのような環境問題が懸念されるのか答えよ。なお、解答欄内であれば字数は問わない。

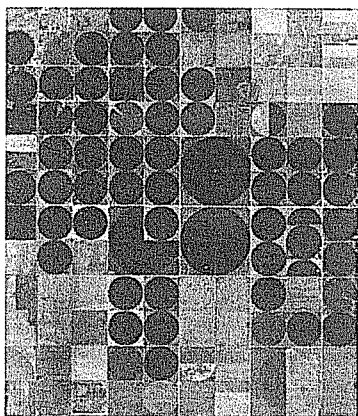
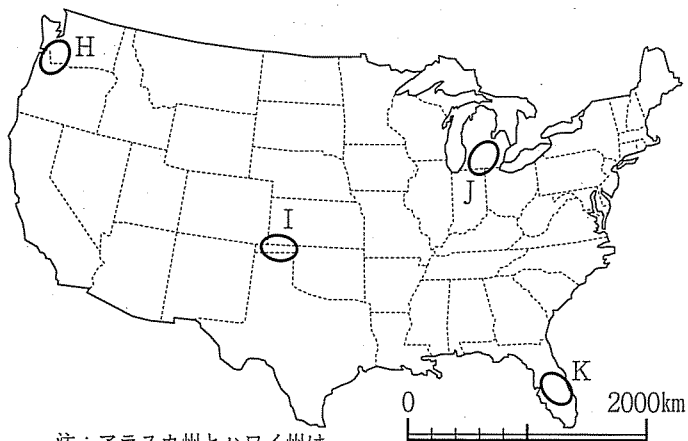


写真1 ある地域の農地景観
資料：Google Earth の画像
(2016年8月16日撮影)より



注：アラスカ州とハワイ州は省略している。

図2 写真1の農地景観が見られる場所

問7 下線部(6)について、工業団地の中にはそこで生産される製品の輸出を条件に、さまざまな免税などの優遇措置を講じ、海外を含む多数の企業を誘致する地区がある。そのような地区の名称を答えよ。

地理

〔Ⅲ〕 CIS 諸国およびバルト3国に関するつぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

解答は解答用紙の該当箇所に、各問いの指示にしたがって記せ。

CIS(独立国家共同体)は、1991年ロシア、、により設立された政治経済面での協力を目的とした国家間の連合体である。1993年までにバルト3国を除くかつてソ連を構成していた12か国が加盟した。独自の議会や憲法はなく、加盟国の首脳会議や閣僚会議が必要に応じて開催される、結びつきのゆるやかな連合体である。2008年の南オセチア戦争でロシアと対立したは、2009年にCISを脱退した。も2014年のクリミア問題により脱退を表明したが、まだ受理されておらず、名目上の加盟国となっている(2018年4月現在)。

CISを構成する諸国のなかに、中央アジアと呼ばれる旧ソ連を構成した5か国がある。 ⁽²⁾気候や砂漠気候が多く見られ、中央アジア北部においては、伝統的な生業であるを主とし、南部はいわゆるでの交易が発展し、オアシス農業によって・ぶどう・葉タバコなどが栽培されている。旧ソ連時代に栽培のため大規模な灌漑が行われ、に流れ込む内陸河川の流量が激減し、現在でもなおをめぐる、様々な問題が生じている。⁽³⁾

バルト3国は、バルト海沿岸に位置するかつての旧ソ連を構成した、ラトビア、の総称である。1991年にソ連から独立し、CISには加盟せず、2004年にEUに加盟した。いずれの国もEUの通貨であるユーロを導入している。はバルト3国のなかで最も経済が安定しており、旧ソ連諸国のなかでいち早くユーロを導入した国でもある。同国ではIT技術の進展がめざましく、インターネットや携帯電話、ネットバンキングも普及している。⁽⁴⁾

問1 空欄～に当てはまる国名を答えよ。

問2 空欄 ～ に当てはまる最も適切な語句を、以下の①～

⑩から選び、番号で答えよ。

- ① アゾフ海 ② アラル海 ③ 王の道 ④ カスピ海
- ⑤ 絹の道 ⑥ 漁業 ⑦ 琥珀の道 ⑧ サバナ
- ⑨ ステップ ⑩ 牧畜

問3 下線部(1)の「クリミア問題」について、20字以内で説明せよ。

問4 下線部(2)について、以下の表1は、中央アジア5か国の人口、国土面積を示したものである。表中の と の国名を答えよ。

表1 中央アジア5か国の人口と面積

国名	人口(千人) 2017年	面積(千km ²)
<input type="text" value="あ"/>	30,691	449
<input type="text" value="い"/>	18,064	2,725
タジキスタン	8,921	143
キルギス共和国	6,045	200
トルクメニスタン	5,758	488

『データブックオブ・ザ・ワールド2018』

問5 上記の中央アジア5か国の人々から最も信仰されている宗教は何か答えよ。

地理

問6 以下の表2は、中央アジア5か国の主要作物の生産量を示したものである。

空欄 ・ に当てはまる作物名を答えよ。なお、本文中と表中の空欄 は同一作物であり、また、表1中と表2中の ・ はそれぞれ同一国名である。

表2 中央アジア5か国の主要作物生産量

国名	<input type="text" value="ア"/> (千トン)2014年	<input type="text" value="イ"/> (千トン)2014年	米 (千トン)2014年
<input type="text" value="あ"/>	1,107	6,956	356
<input type="text" value="い"/>	93	12,997	377
タジキスタン	123	868	80
キルギス共和国	—	573	28
トルクメニスタン	195	1,200	130

『世界国勢図会2017/18』

問7 下線部(3)について、どのような問題が生じているのか、説明せよ。解答欄

内ならば字数は問わない。

問 8 下線部(4)について、以下の表 3 は、世界の国々の100人あたりのブロードバンド契約件数(2016年12月)を示したものである。 う ~ お の国名を以下の①~③から選び、番号で答えよ。なお、表中と本文中の D は同一国名である。

表 3 世界の国々における100人あたりのブロードバンド契約件数

(単位 件/100人)

国名	固定ブロードバンド通信	移動ブロードバンド通信
日本	30.6	152.4
う	31.2	146.9
D	29.2	122.2
え	40.4	109.6
ドイツ	38.6	76.5
ポルトガル	32.7	62.7
お	13.3	60.9

『世界国勢図会2017/18』

- ① 韓国 ② フィンランド ③ メキシコ